

過労死防止学会 第12回大会 プログラム

□日程： 2026年9月5日(土)、9月6日(日)

□会場： 大分大学 旦野原キャンパス 大分市大字旦野原 700 番地
・ JR豊肥本線「大分大学前駅」から徒歩 7～10 分

□ 9月5日(土) [第1日目]

◇10:00～12:00 専門部会・分科会

第1分科会：[自由論題]

▽司会：田中明彦 会場：2階203号

国際的な視点から見た労働関連疲労の構造的ダイナミクス

Stefan Paulus 東スイス応用科学大学 ※逐次通訳

中小企業の男性労働者はなぜ「サービス残業」を受容するのか

鹿島 謙輔 (社)いのち支える自殺対策推進センター 埼玉大学大学院博士後期課程

第2分科会：今も続く日本の長時間労働—その現状と課題— ▽司会：水野谷武志 会場：2階202号

労働時間短縮と日本経済の再生

松浦 章 兵庫県立大学客員研究員

『働き方改革』で労働時間はどうなったのか？

喜多 裕明 社会保険労務士

戦後 80 年、労働時間短縮 40 年 なぜ過労死・過労自殺は減らないか？

寺内宏伸 独立系研究者、元労働基準監督官

専門部会 「航空産業労働者の過労要因調査研究部会」報告 ▽司会：黒田兼一 会場：2階201号

客室乗務員における人権と労働災害、空の安全を考える (仮)

酒井 三枝子 NPO 法人 航空の安全・いのちと人権を守る会 理事長

休憩裁判のその後、および疲労リスク管理について (仮)

生井 良江 NPO 法人 航空の安全・いのちと人権を守る会 理事

◇ 13:00～16:10 共通論題

会場：1階101号 [Online]

勤務医の働き方改革の現状と課題～過労死防止の視点から

▽座長 天笠崇 医師、松丸正 弁護士

▽報告

勤務医の過労死・過労自殺の実態 —労災認定事案の分析から—

吉川 徹 独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所・過労死等防止調査研究センター

勤務医の過労死・過労自殺問題の法的課題～研修医・専攻医を事例に

古川 拓 弁護士

海外のタスク・シフトから医師負担軽減の可能性を考える

早川佐知子 明治大学専任准教授

過重労働と医療安全～医師の働き方改革と労働組合の課題

植山直人 全国医師ユニオン代表、医師

▽討論者 土谷良樹 緑野クリニック 医師、島田陽一 早稲田大学名誉教授 弁護士

◇ 16:30～17:30 会員総会 会場：1階101号 [Online]

◇ 18:00～20:00 懇親会 会場：生協食堂 B-Foret(ビ・フォーレ)

◇会員控室：経済学部休憩室・第1会議室 ◇大会事務局：経済学部自習室

※ [Online]記号：会場での対面開催とともに、オンライン配信を予定しています

※ 大会プログラム最新版はホームページに掲載：<https://www.jskr.net/3694/>

敬称略 [2026-07-26 版]

□ 9月6日(日) [第2日目]

過労死防止学会 第12回大会 プログラム

◇ 10:00～12:00 専門部会・分科会

専門部会 権利とエンパワーメント(法社会学)部会

▽司会:未定

会場:2階201号

＜日本、台湾、香港における家事労働者の過重労働の実態と、組織化・権利行使の比較研究(仮)＞

日本:家事労働者過労死事件から見える過重労働の実態と、権利行使のプロセス及び成果

佐藤学 NPO 法人 POSSE/総合サポートユニオン

台湾: (論題未定)

桃園市家庭介護職労働組合:Domestic Caretaker Union -DCU- 桃園市家庭看護工職業工會

香港: (論題未定)

黄香港:アジア家事労働者組合香港連盟:Hong Kong Federation of Asian Domestic Workers Unions (FADWU)

第3分科会:海外勤務者の過労死:遺族の取り組みと国への要望案

▽司会:岩城穰 会場:2 階情報処理第1実習室 [Online]

川崎重工業(株)・中国出向エンジニア過労死事件 控訴審での闘い

八木和也 弁護士、駿馬綾子 海外労働連絡会 リーディングメンバー

カナデビア過労自死事件・「海外派遣者健康管理マニュアル」を作成するに至るまで～心理的安全性を求めて

安田知央 弁護士、上田直美 海外労働連絡会 発起人・共同代表

海外勤務者の過労死:海外労働連絡会の取り組みと政策提言

中江奈津子 海外労働連絡会 共同代表、尾林芳匡 弁護士 海外労働連絡会 共同代表

専門部会 芸能従事者の働き方の改善に向けた研究会

▽司会:森崎めぐみ

会場:2階202号

＜児童芸能従事者の安全確保と子ども性暴力防止法＞

児童芸能従事者の安全確保をめぐる実態と課題

森崎めぐみ 一般社団法人日本芸能従事者協会 代表理事

習い事の現場における子どもへの性暴力リスク調査と課題克服のための提言

梅澤暁 伝統文化による地域アクション研究会 代表

子どもの権利に関する国際的な考え方

坪井ひろ子 UNESCO 文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約エキスパートファシリティ・メンバー

子ども性暴力防止法 制定の背景と概要

吉田昌司 子ども家庭庁支援局参事官(子ども性暴力防止担当)

児童芸能従事者をめぐるビジネスと人権

黒田兼一 明治大学名誉教授

第二部 総合討論 浜津貴之 共同通信社 社会部 他

第4分科会: [自由論題]

▽司会:井上千一

会場:2階203号

医師の働き方改革とポスト地域医療構想～医療提供体制とジェンダー～

田中與念子 社会福祉士 基礎経済科学研究所所員

◇ 12:50～16:00 特別企画

会場:1階101号 [Online]

過労死防止啓発授業の現状と課題～その量的・質的拡充に向けて

▽座長 川村雅則 北海学園大学経済学部教授、清山玲 茨城大学人文社会学部教授

▽報告

過労死等防止対策と啓発授業等の取組について

杉山彰浩 厚生労働省労働基準局総務課過労死等防止対策推進室企画官

なかなか広がらない労働教育の授業—構造を捉えるための3つの問い—

筒井美紀 法政大学キャリアデザイン学部教授

学校における過労死等防止対策

薄田綾子 日本教職員組合政策局局長

大学教育と過労死 —助長の構造と防止の取り組み—

本田由紀 東京大学大学院教育学研究科教授

▽討論者 児美川孝一郎 法政大学キャリアデザイン学部教授、清水亮宏 弁護士

◇会員控室:経済学部休憩室・第1会議室 ◇大会事務局:経済学部自習室

※ [Online]記号: 会場での対面開催とともに、オンライン配信を予定しています

※ 大会プログラム最新版はホームページに掲載: <https://www.jskr.net/3694/> 敬称略 [2026-07-26 版]